

# 注 意 報

長崎県病害虫防除所長

平成22年度病害虫発生予察 注意報第3号

## いちご（育苗床） うどんこ病

1. 発生地域（対象地域） 県下全域

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

(1) 5月上旬の巡回調査（32筆）の結果、発病株率は11.4%（平年3.7%）、発生圃場率は40.6%（平年20.0%）と高く、過去10カ年の最高であった（図1、2）。

(2) 前作本圃でのうどんこ病の発生が多かった。

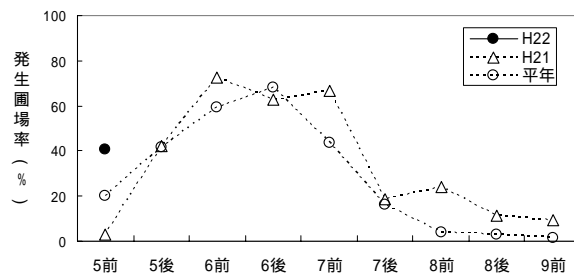


図1 うどんこ病 発生圃場率の推移 (巡回調査)

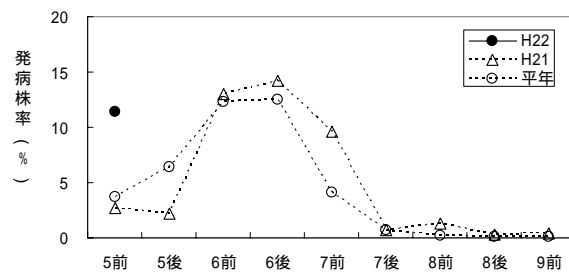


図2 うどんこ病 発病株率の推移 (巡回調査)

4. 防除対策

- (1) 伝染源を絶つため、収穫を終了した圃場（本圃）は、直ちに株を適切に処分する。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、本病が発生しやすい葉裏をよく観察し、早期発見、早期防除に努める。
- (3) 薬剤は、葉裏や下位葉にむらなくかかるように十分量を散布する。また、新葉の展開期が最も感染しやすいので、これらの葉裏に薬液が十分かかるように、葉の展開間隔にあわせて定期的に散布する。
- (4) 薬剤耐性菌発達の防止のため、系統の異なる薬剤をローテーション散布する（表）。
- (5) 子苗（ランナー）を切り離した後、親株は早期に除去し処分する。
- (6) 本圃へ罹病株を持ち込まないように、育苗床での防除を徹底する。
- (7) 雨よけハウスでは発生が多くなる傾向があるので注意する。

表 うどんこ病グループ別薬剤一覧表【長崎県病害虫防除基準より抜粋】

グループ	薬剤名	炭疽病への効果 <sup>注3)</sup>	備考
銅殺菌剤	サンヨール		
E B I 剤	ラリー水和剤		
	トリフミン水和剤		
	バイコラール水和剤		
	サブロール乳剤		
	ルビゲン水和剤		
	スコア顆粒水和剤		
	サンリット水和剤		
シルフェミド 剤混合	パンチョTF 顆粒水和剤		トリフミン混合
抗生物質剤	ポリオキシンAL (水和剤・乳剤)		
硫黄殺菌剤	水和硫黄剤 52 (フロアブル)		
イミダゾール系 硫酸塩剤	ベルコート水和剤		
ピロキアト系殺菌剤	ダイヤモンド		ベルコート混合
イミダゾール系殺菌剤混合			
メトキシアクリレート系殺菌剤	アミスター20 フロアブル ストロビーフロアブル		
炭酸水素カリウム剤	カリグリーン		
炭酸水素ナトリウム剤	ハーモメイト水溶剤		
銅・炭酸水素ナトリウム	ジーファイン水和剤		
キノキサリン系	モレスタン水和剤		
アニリノピリミジン系	フルピカフロアブル		
チオフェン系	アフエットフロアブル		

注1) 記載薬剤及びグループ分けは、平成22年県病害虫防除基準 (p336) による。「水和硫黄剤 52(フロアブル)」は「一般名記載薬剤一覧表 (p442)」を参照すること。

注2) 使用に当たってはよく農業使用基準を確認すること。

注3) 炭疽病 (*Glomerella cingulata*) の防除と兼ねることが出来る薬剤を挙げた。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027